



鶴嶺湖新報

W/A 抑留者の釈放に備へ R 転任計画樹立援助に邁進

司法省の判決に依り合衆国内に再定まり得るやも知れぬ人達の臨時転任計画の樹立は今週大車輪にて進捗して居る。

ブラック所長代理並ぶに司法省代表者サイリアム氏の両氏に依るW/A及び司法省間の協調默契に掛る昨日の公報はW/Aが其運營の継続を二月に延引し司法省の釈放に遺ひ難任爲し得る場合假定的

転任計画者には全機能を發動し、転任の際其援助を弁へる保証して居る。

曩の事項に開明し、ネーランド転任事務局長は左の如き発表を行つた。當局は一月廿一日以前に出所を要請されたる人達に附与された全機關發動に依る援助は現在釈放の場合の転任に備へ、假定的転任計画を樹立して居る者にも同様賦与されるものと

であると同時に情報部では斯る人達の転任援助に特殊的情報を弁へるリセツトルメントミスの再行を行ふ旨の発表を行つた。即ち今後出所を許容されるやも知れぬ人達に對しては、當所附録日二月一日以前に賦與されたと同様運轉機關の配備其他のサーボスが附与されるものである。

転任事務所では斯る人達を全部一時に引見計重獨立の援助に當るは不可能であり、大概引見の通知を發し、其秩序を立て、居ると。而して、此のインタビュニアポイントメントに關し、ネーランド氏は又之は釈放を意味するものではないと誤解せざる様、注意を喚起し、W/Aは司法省の判決には感知する處がないと説明した。

又一方、一月中に當所にて施行された期間プログラムの終了と俟つて、各自の資格の司法省の判決は、當出張事務所より發せられる旨サイリアム氏は発表して居る。

出所の可能性ある抑留者の仕事口は福音的なるものがあり假令へば就働契約者の出所迄其家族に日無料で住宅を提供するミイブルック農園又はオクデン市のプリングル会社等のそれがある。尙相當の數に上る雇主が當所民の雇傭に歡心を寄せて居ると。詳細事項は転任事務所に照會され度いと。

ラックの整理を考慮しつゝあつたが、現在食堂を運營して居るないラックにして在任者の數が或る程度以下に減少したものは順次これを削減することに方針を決定、先づその皮切りとして明日オクティンブラックを閉鎖し、次いで本週中にはオクティンブラックを閉鎖することとなつた。この二ラックでは既に給水ラックでは明日より配電も停止されることになつて居るが、同ラックの在任者は主にオクティンブラックへ移動する筈である。

又は當所住宅部ではブラックの在任者が或る程度以下まで減少した場合に數日の予告を以て手へた後同様の方法によつてこれが閉鎖を継続する旨述べて居る。

出所の際の注意

WRA貸与品は

指定の場所に返還

トーマス住宅部長は當所よりの転任者に對し、その出所に當つてベッド、マトレス、ブランケットなどWRAの貸與物品を各ブラック指定の場所へ還んで置くに當り、自己費請する處もつた。これは人々の不足に基くもので、今後出所者の増加と共にこの事情は益々拍車をかけられるものと思はれるが、そのたかこれら諸物品の蒐集は更に困難を加へられる筈で、トーマス氏はその美を特に強調、出所者の協力を要請して居る。

▲落物―手編履線スエター、三十三五トプロセス間屋先、転任所本部。

部落の閉鎖 皮切りは世五区

當局ではセンター在任者の減少に伴つてブ

ラックの在任者が或る程度以下まで減少した場合に數日の予告を以て手へた後同様の方法によつてこれが閉鎖を継続する旨述べて居る。

トーマス氏はその美を特に強調、出所者の協力を要請して居る。

▲落物―手編履線スエター、三十三五トプロセス間屋先、転任所本部。

好條件の仕事口

シイブルク社提供

ニューヨークヤージー州
シイブルク農耕地では
食料精製工場に多数
の人手を要するといふ
事だ。その旨当所転住
部へ申入れを行つて未
だが一現在のユニオン
賃銀では一時向男六十
四仙、女五十七仙半で
一週向四十時間といふ
ことになつてゐる。尤
も二月一日からは新し
いユニオン賃銀率が制
定され、條件は更に有
利になるといふことで
あるが、住宅は無料で
提供されることになつ
てゐる。

らば一時向七十三仙で
同農耕地関係の建築方
面へ百五十名だけ就職
させ得ることとであ
る。但し石住宅へ移住
するのはこの建築方面
の仕事と関係なく何時
でも移住してよいので
現在では三百五十家族
約一千名を收容する能
力が残存してゐるとい
はれる。

なほ同農耕地では生
活上必要ならば将来オ
ーバータイムからのみ
返却するといふ條件の
下に或る程度の前借に
も應ずると提唱してゐ
る。(本就職に關する詳
細は当所ハイスクール
の転住部へ照会すれば
得られる。)

ウ市の提議は見合せ
(ウイニベツク登)加奈
院に於ける帰国申請者
の送還の須政府が密令
の合法性を大審院で審
理する事に賛同した結
果同地の市民権擁護委
員会からマニトバ州の
最高法院に提訴する事
にして居た件は一時見
合せの事になつた。既
に日本人ナシヨナル婦
仁人及びカナダ生れの
三名から提訴する用意
が出来て居るものであ
ると。

加 院の送還延引か 日本の事情から

ないといふのである。
而してマクナマラ労
働次官は約一万人に上
る日本人送還促進につ
き華府当局と相談を進
めて居るとも云はれる。

就職に好機會 仕事口百五十件

職業紹介所の発表に
依ると、現在約百五十
の各方面に亘る仕事口
が提供されて居る故
に現在就職して居ない者
は十二区の職業紹介所
にて各自通した仕事を
申込む様向所では從適
して居る。

加奈院に於ける 最初の地下鉄

(下ロント登)ロント
市に加奈院で最初の地
下鉄道を建設する案が
市民の投票に依り賛同
を受けたと、該工事の
豫算額は五千万弗以上
で八千人の労働者に七

年以上の仕事を與へ得
る程の大工事であると
ザニユキヤナデアン紙
は報じて居る。

八百六十名の
転住者を以て
オ一転住プログラム終了
当所のオ一転住プ
ログラムは一月廿一日
を以て終了し該期日迄
に出所せなければなら
なかつた者は既に出所
し現在五千四十五名の
人達が残留してゐるが
管理部門斯る人達の釋
放に備へ転住計画樹立
援助に着手した旨発表
して居る。

一月中の出所者は二
二四四名が計上され過
去十三ヶ月間に八六〇
〇名の転住者を見たと
出 生

- 〇佐々野夫妻(三三四A)
- 〇野村夫妻(三八一五D)
- 〇宇田夫妻(三八一五D)
- 〇野村夫妻(三八一五D)
- 〇田中夫妻(六〇五A)

女兒 一月廿三日
〇畑夫妻 (三六〇D)
女兒 一月廿五日
〇伊奈留夫妻(五〇三D)
男兒 一月廿五日
〇坂石夫妻(一九一五A)
女兒 一月廿六日

印刷機 ミメスコフ
紙六ナリム 希望者は
元〇八一Aの病院後援会
事務所に午後訪問され
度し

病院後援会
寄附者発表表
鶴嶺湖共同組合
四百七十二弗七十七仙

二月三日午前二時
才七佛教会 大野師
才八佛教会 玉那覇師
佛青白校サーピス
二月三日午前九時
才四佛教会 大野師
才五佛教会 玉那覇師

鶴嶺湖佛教会
定例説教
二月三日午前二時
才七佛教会 大野師
才八佛教会 玉那覇師
佛青白校サーピス
二月三日午前九時
才四佛教会 大野師
才五佛教会 玉那覇師